あなたの、いちばんであるために。
やましん

山梨信用金庫経営企画部
〒400-0032 甲府市中央 1-12-36
TEL 055-225-0213
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ
https://www.yamasin.jp/

中小企業景況レポート 2026 年 7～9 月期 No.75

2026.10.15 発刊

■ 調 査 要 領 ■

1. 調査対象
   当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120社
2. 調査時期･期間
   調査時期：2026年9月1日～7日
   調査期間：今 期 実 績 2026年7月～9月
   来期見通し 2026年10月～12月
3. 調査方法
   当金庫職員による訪問聞き取り調査
4. 分析方法
   ＤＩを中心に分析
5. 特別調査
   ①「中小企業における生成 AI の利活用について」
   ②「中東情勢による影響」

■ 調査対象と回答状況 ■

業　　種	企 業 数	回 答 数	回 答 率
製 造 業	28	27	96.4%
卸 売 業	15	14	93.3%
小 売 業	17	17	100.0%
サービス業	26	24	92.3%
建 設 業	23	22	95.7%
不動産業	11	11	100.0%
合　　計	120	115	95.8%

※ ＤＩ（Diffusion Index）とは

各質問事項で「良い（増加）」とした企業割合－「悪い（減少）」とした企業割合の構成比との差（判断 DI）による分析です。例えば、回答が以下のような場合の DI の算出方法は、次のとおりです。

（例）「良い･やや良い」の回答が50%、「変わらず」の回答が30%、「悪い･やや悪い」の回答が20%の場合

DI は50「良い･やや良い」－20「悪い･やや悪い」 ＝ ＋30となります。DI 値が高いほど景気が良いことを示しています。

業 況 判 断 ＤＩ

業　　種	前　期	今期実績			来期見通し		
		良い	悪い	ＤＩ	良い	悪い	ＤＩ
総　　合	0.0	14.7	27.8	▲13.1	17.3	21.7	▲4.4
製 造 業	3.7	29.6	25.9	3.7	37.0	18.5	18.5
卸 売 業	▲7.1	21.4	42.8	▲21.4	28.5	14.2	14.3
小 売 業	5.9	5.8	29.4	▲23.6	11.7	23.5	▲11.8
サービス業	▲12.0	8.3	33.3	▲25.0	4.1	29.1	▲25.0
建 設 業	▲4.6	4.5	18.1	▲13.6	0.0	27.2	▲27.2
不動産業	27.3	18.1	18.1	0.0	27.2	9.0	18.2

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、正確性･完全性を保証するものではございません。

※回答数：国中地区66社、東部地区32社、相模原周辺地区17社

業種別景気天気図

業　　種	前　期	今　期	見 通 し
総　　合			
製 造 業			
卸 売 業			
小 売 業			
サービス業			
建 設 業			
不動産業			

31以上	11～30	10～▲10	▲11～▲30	▲31以下
				

概　況

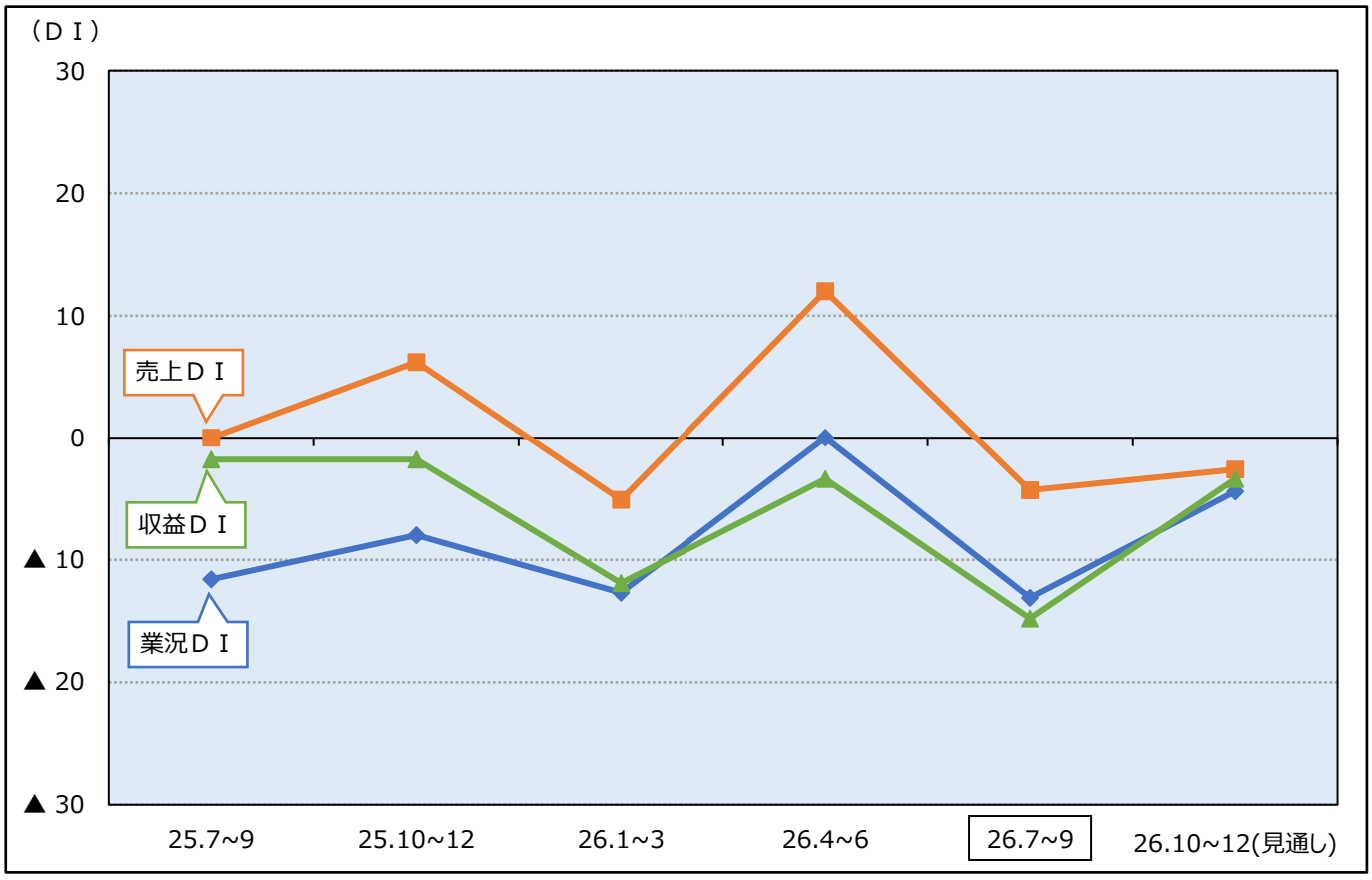
＜業況･売上･収益＞

今期（7～9月、以下同じ。）のＤＩをみると、業況ＤＩは前期（4～6月、以下同じ。）0.0から13.1ポイント悪化（前年同期比1.5ポイント悪化）しました。売上ＤＩは同12.0から▲4.3と、16.3ポイント悪化（同比4.3ポイント悪化）、収益ＤＩは同▲3.4から▲14.8と、11.4ポイント悪化（同比13.0ポイント悪化）となりました。

来期（10～12月、以下同じ。）をみると、業況ＤＩは▲13.1から▲4.4と、今期実績比8.7ポイント改善の見通しとなりました。売上ＤＩは同▲4.3から▲2.6と、同比1.7ポイント改善、収益ＤＩは同▲14.8から▲3.4と、同比11.4ポイント改善の見通しとなりました。

■　業況･売上･収益ＤＩの時系列推移　■

	25.7～9	25.10～12	26.1～3	26.4～6	26.7～9	26.10～12　見通し
業　況　Ｄ　Ｉ	▲11.6	▲8.0	▲12.7	0.0	▲13.1	▲4.4
売　上　Ｄ　Ｉ	0.0	6.2	▲5.1	12.0	▲4.3	▲2.6
収　益　Ｄ　Ｉ	▲1.8	▲1.8	▲11.9	▲3.4	▲14.8	▲3.4

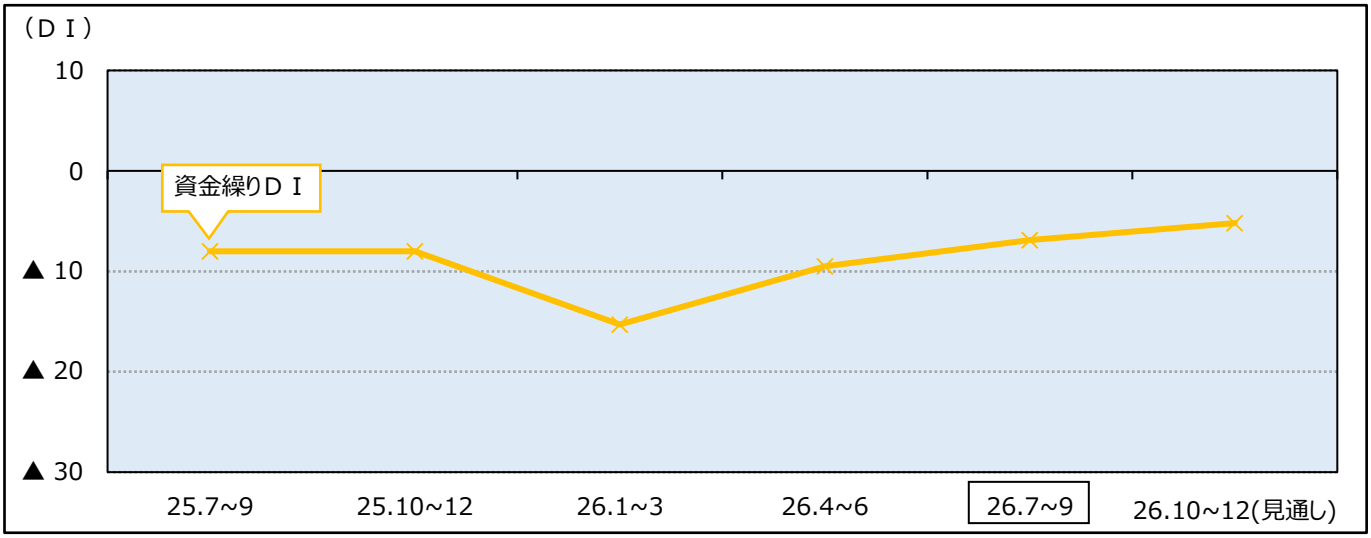


＜資金繰り＞

今期の資金繰りＤＩは前期▲9.5から▲6.9と、2.6ポイント改善（前年同期比1.1ポイント改善）となりました。また、来期は▲5.2と、今期実績比1.7ポイント改善の見通しとなりました。

■　資金繰りＤＩの時系列推移　■

	25.7～9	25.10～12	26.1～3	26.4～6	26.7～9	26.10～12　見通し
資金繰りＤＩ	▲8.0	▲8.0	▲15.3	▲9.5	▲6.9	▲5.2



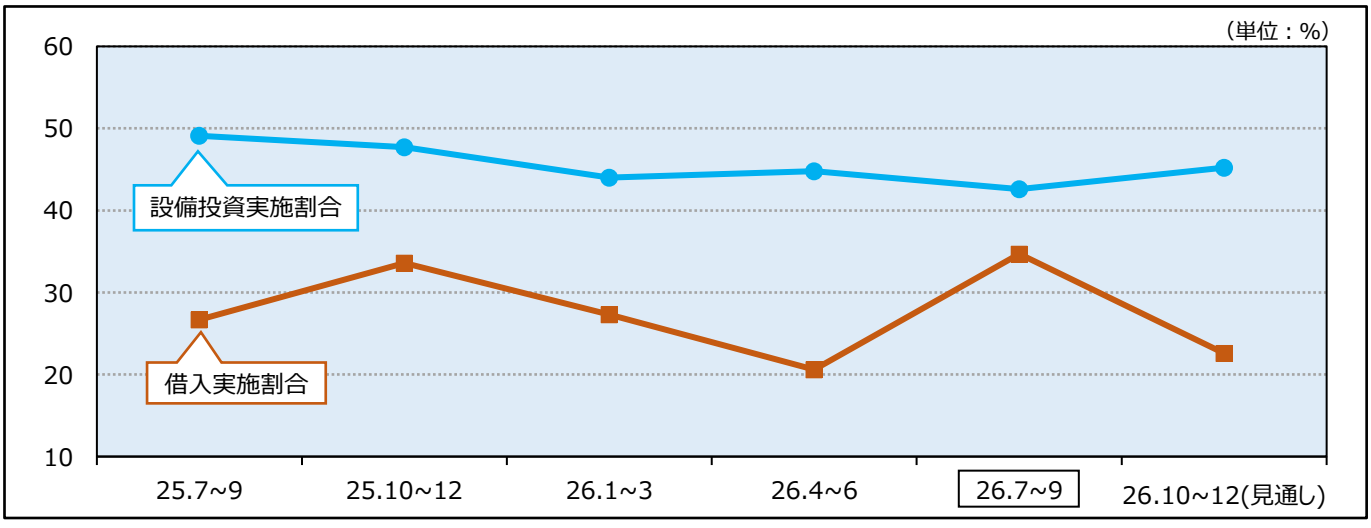
＜設備投資･借入動向＞

今期の不動産業を除いた設備投資実施企業割合は、前期44.8%から42.6%と、前期比2.2ポイント低下（前年同期比6.5ポイント低下）となりました。また、来期は45.2%と、今期実績比2.6ポイントの上昇が見込まれます。

全業種総合の借入実施企業割合は、前期20.6%から34.7%と、前期比14.1ポイント上昇（前年同期比8.0ポイント上昇）しました。また、来期は22.6%と、今期実績比12.1ポイントの低下が見込まれます。

■　設備投資･借入実施動向の時系列推移　■

	25.7～9	25.10～12	26.1～3	26.4～6	26.7～9	26.10～12　見通し
設備投資実施割合	49.1%	47.7%	44.0%	44.8%	42.6%	45.2%
借入実施割合	26.7%	33.6%	27.3%	20.6%	34.7%	22.6%



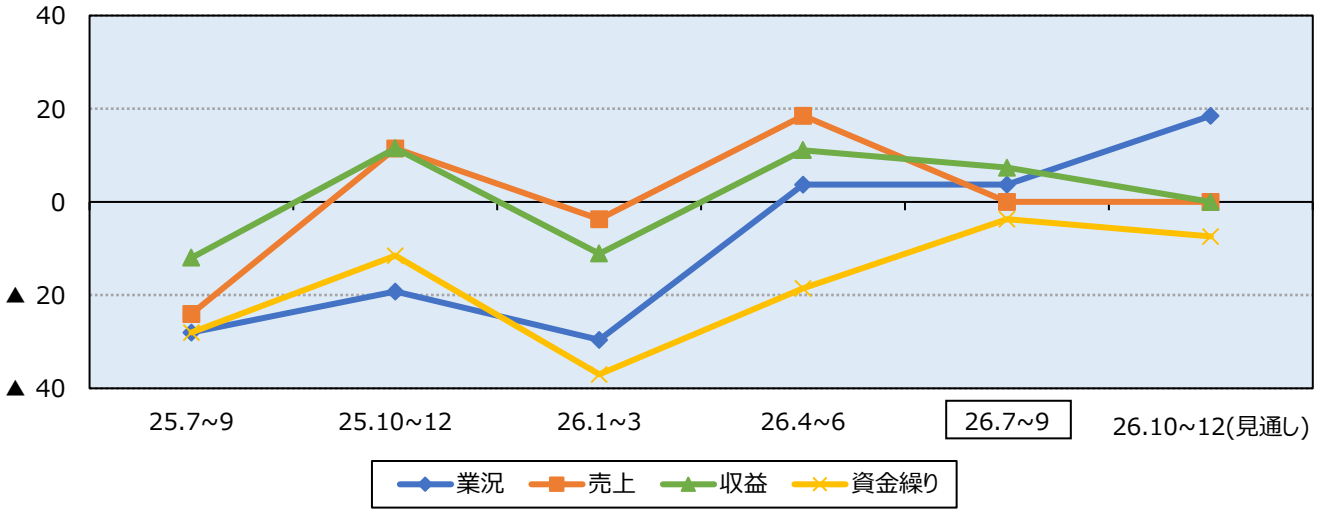
製 造 業

■ 主要ＤＩの推移 ■

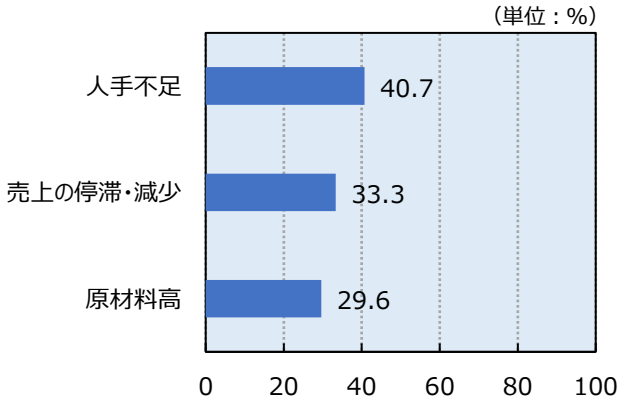
	前年同期	前期	今期	来期
業　　況	▲28.0	3.7	3.7	18.5
売　　上	▲24.0	18.5	0.0	0.0
収　　益	▲12.0	11.1	7.4	0.0
資 金 繰 り	▲28.0	▲18.5	▲3.7	▲7.4

【今期】
前期比で、業況ＤＩが横ばい、売上ＤＩと収益ＤＩが悪化、資金繰りＤＩが改善となりました。前年同期比では、すべてのＤＩが改善しました。

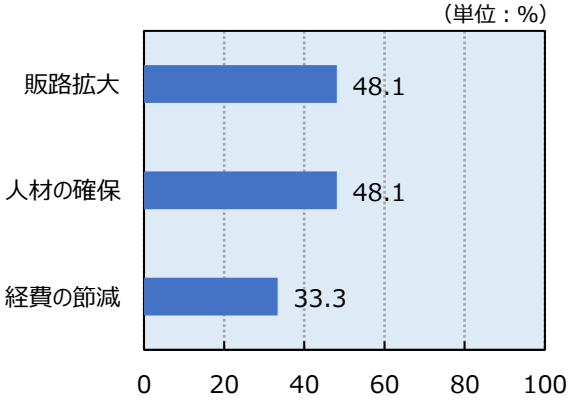
【来期】
今期実績比で、業況ＤＩが改善、売上ＤＩが横ばい、収益ＤＩと資金繰りＤＩが悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】
〇人手不足を補うため、生成 AI を積極的に活用している。（プリント配線基板）
〇環境に配慮した商品の開発や特殊な製品の注文への対応により売上の増加に努めている。（和紙）

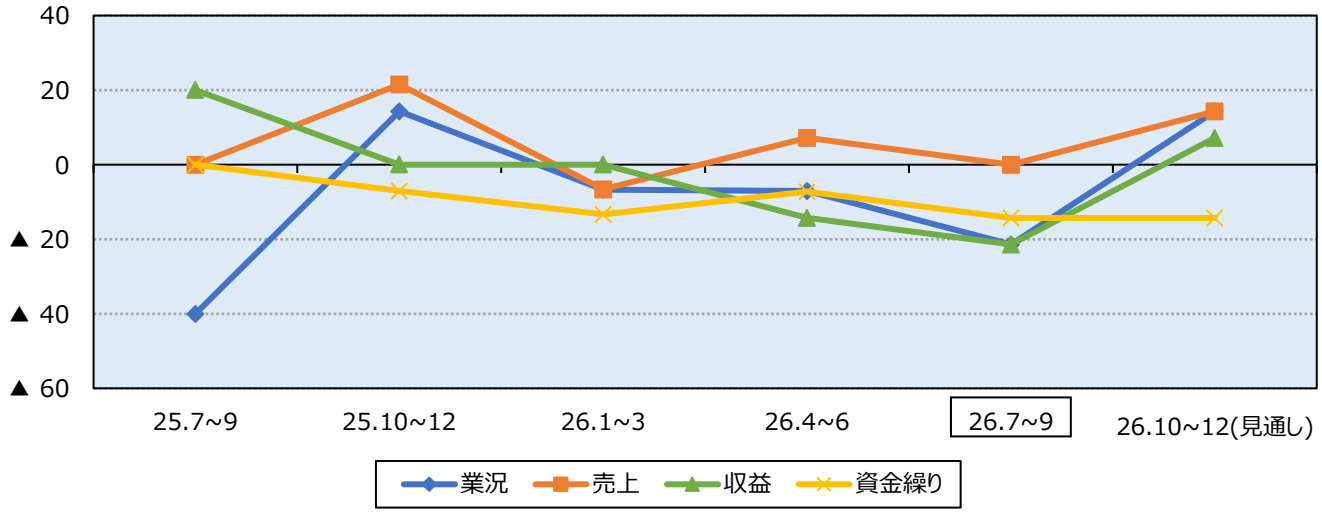
卸 売 業

■ 主要ＤＩの推移 ■

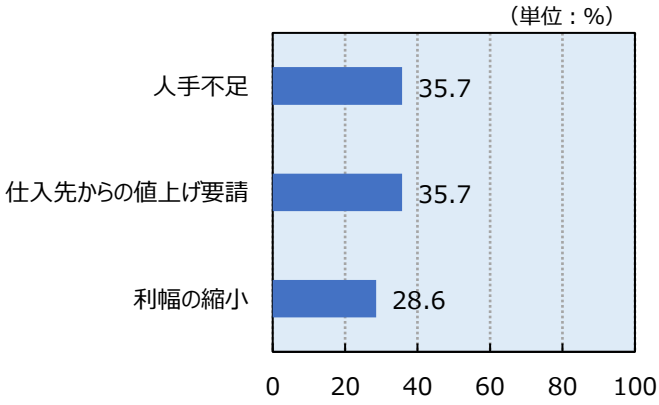
	前年同期	前期	今期	来期
業　　況	▲40.0	▲7.1	▲21.4	14.3
売　　上	0.0	7.2	0.0	14.3
収　　益	20.0	▲14.3	▲21.4	7.2
資 金 繰 り	0.0	▲7.2	▲14.3	▲14.3

【今期】
前期比で、すべてのＤＩが悪化しました。前年同期比では、業況ＤＩが改善、売上ＤＩが横ばい、収益ＤＩと資金繰りＤＩが悪化となりました。

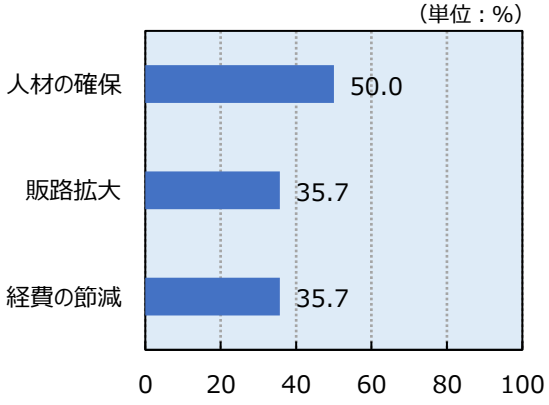
【来期】
今期実績比で、資金繰りＤＩを除いて改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】
〇仕入価格が上昇しているため、自社ブランドの販売に注力している。（美容商品）
〇中東情勢の影響に伴う駆け込み需要により、売上が前年を大きく上回る見込みである。（建設資材）

小 売 業

■ 主要ＤＩの推移 ■

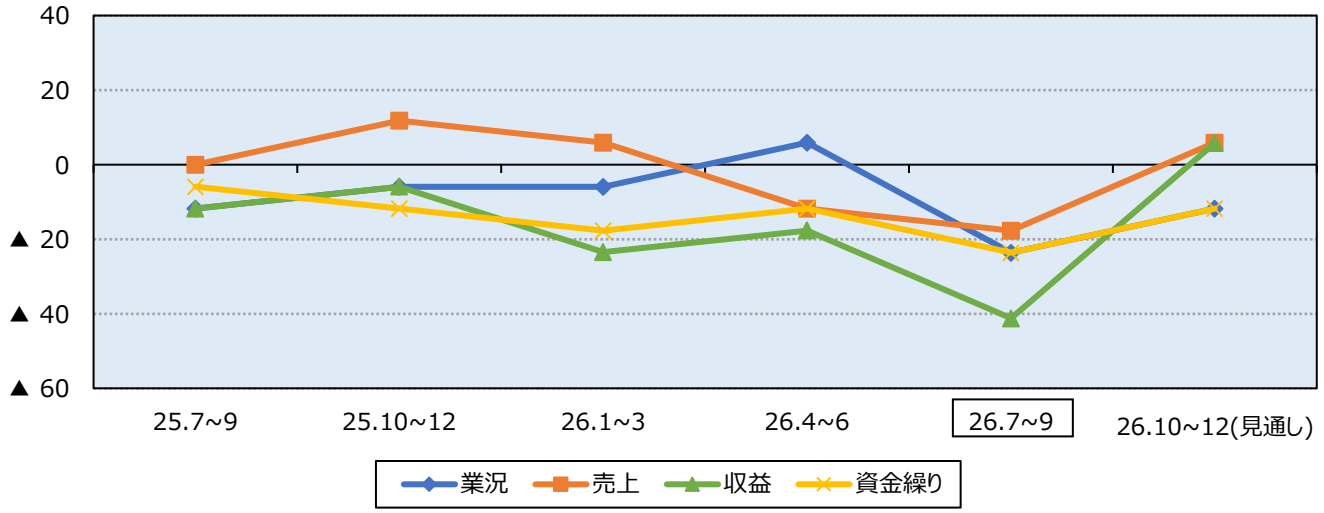
	前年同期	前期	今期	来期
業　　況	▲11.8	5.9	▲23.6	▲11.8
売　　上	0.0	▲11.8	▲17.7	5.9
収　　益	▲11.8	▲17.7	▲41.2	5.8
資 金 繰 り	▲5.9	▲11.8	▲23.6	▲11.8

【今期】

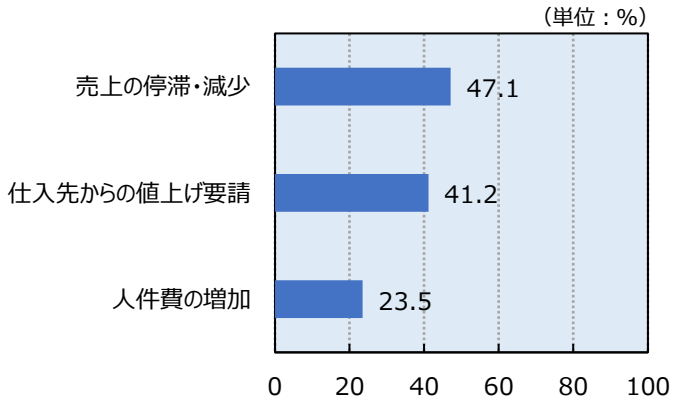
前期比および前年同期比で、すべてのＤＩが悪化しました。

【来期】

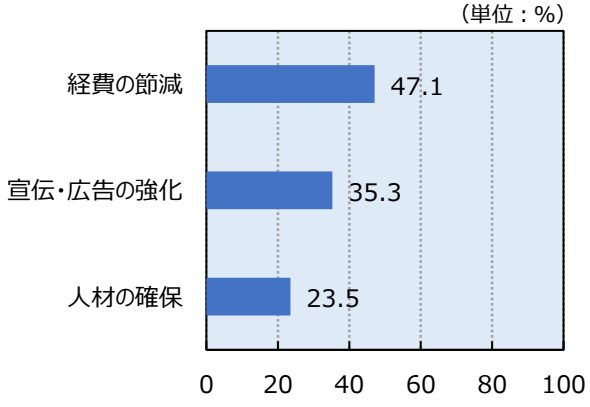
今期実績比で、すべてのＤＩが改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

〇同じショッピングモール内に同業他社が出店した影響から、売上が減少傾向にある。（雑貨）

〇専門家派遣による支援を活用し、SNS の運用等を学んでいる。（婦人服）

サービス業

■　主要ＤＩの推移　■

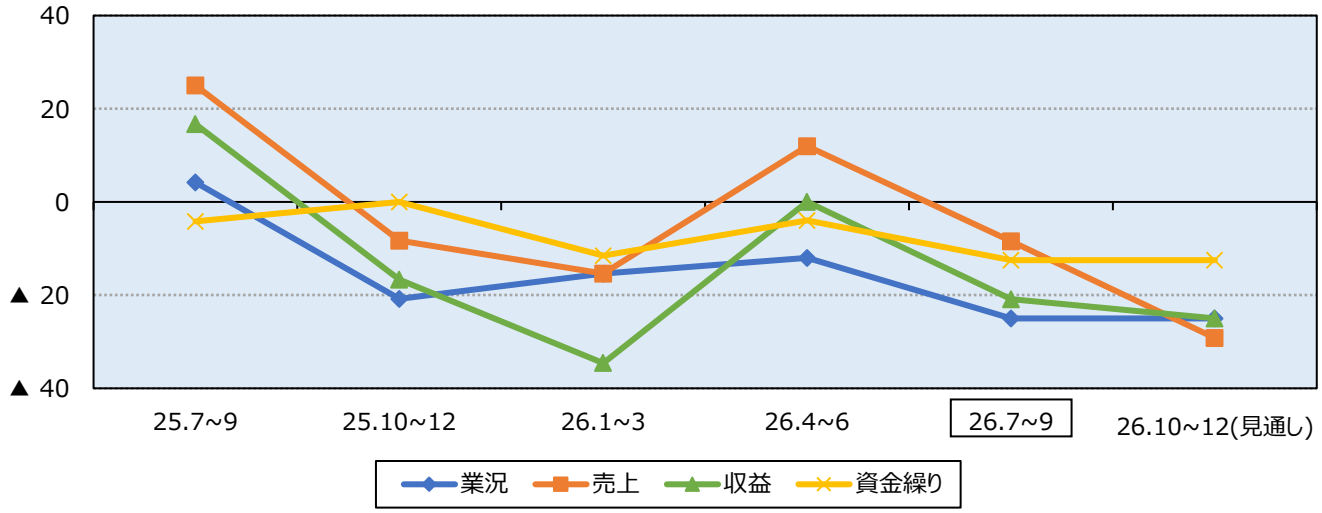
	前年同期	前期	今期	来期
業　　況	4.2	▲12.0	▲25.0	▲25.0
売　　上	25.0	12.0	▲8.4	▲29.2
収　　益	16.7	0.0	▲20.9	▲25.0
資 金 繰 り	▲4.2	▲4.0	▲12.5	▲12.5

【今期】

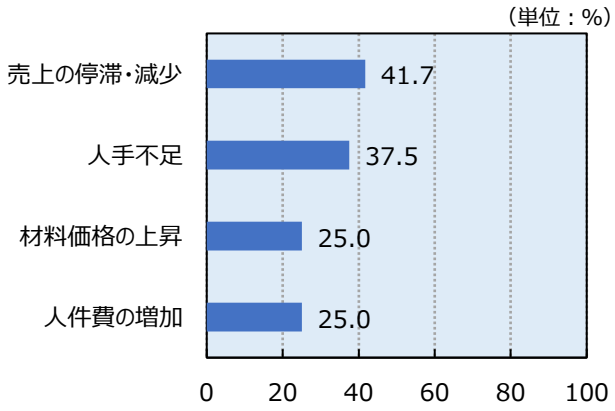
前期比および前年同期比で、すべてのＤＩが悪化しました。

【来期】

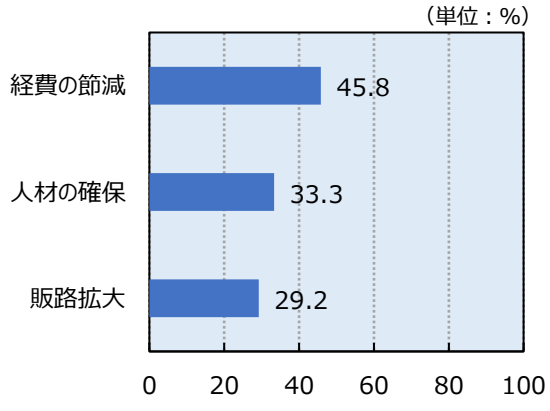
今期実績比で、業況ＤＩと資金繰りＤＩが横ばい、売上ＤＩと収益ＤＩが悪化の見通しとなりました。



■　経営上の問題点　■



■　当面の重点経営施策　■



【調査員のコメント】

〇仕入価格が上昇しているが、極力値上げはしないよう経費削減に努めている。（飲食）

〇中東情勢の影響もあり、観光需要が低調である。（レジャー）

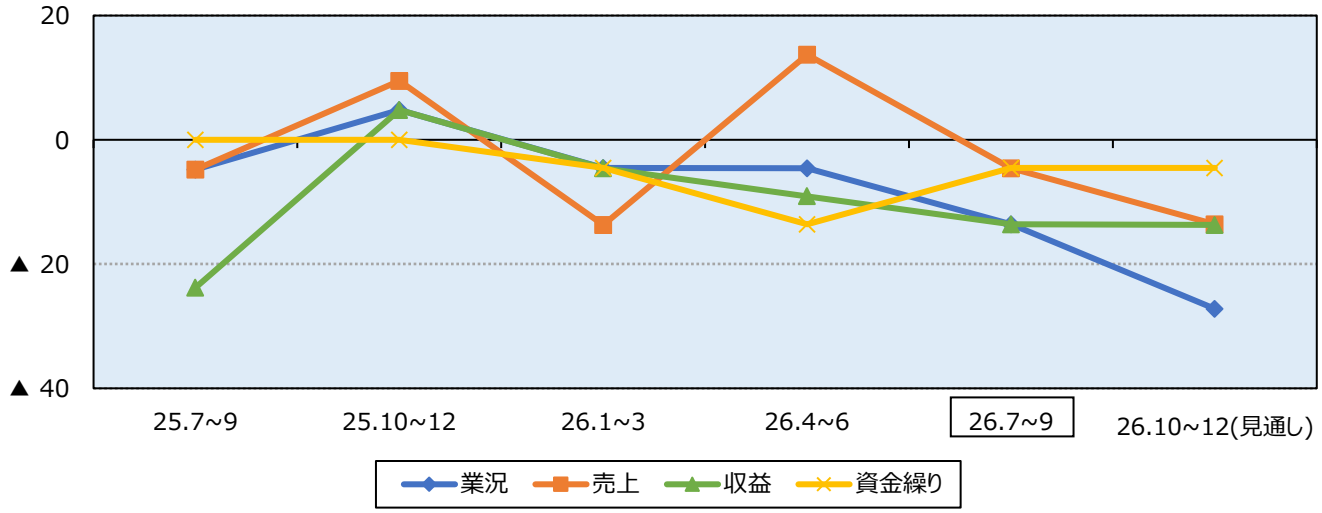
建 設 業

■ 主要ＤＩの推移 ■

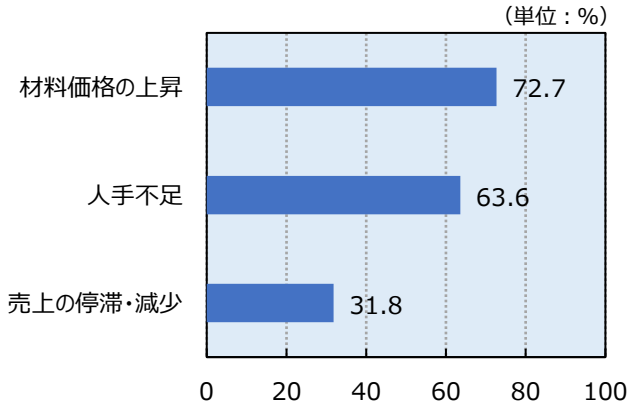
	前年同期	前期	今期	来期
業　　況	▲4.8	▲4.6	▲13.6	▲27.2
売　　上	▲4.8	13.7	▲4.6	▲13.6
収　　益	▲23.8	▲9.1	▲13.6	▲13.7
資 金 繰 り	0.0	▲13.6	▲4.5	▲4.5

【今期】
前期比で、資金繰りＤＩを除いて悪化しました。前年同期比では、業況ＤＩと資金繰りＤＩが悪化、売上ＤＩと収益ＤＩが改善しました。

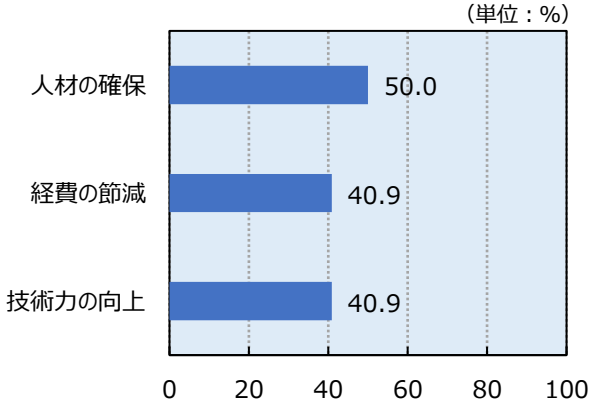
【来期】
今期実績比で、資金繰りＤＩを除いて悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】
〇今後は全従業員が生成 AI を活用し、生産性を上げていきたいと考えている。（設備工事）
〇経理担当として元金融機関職員を雇用するなど、各部門で経験者採用を継続する方針である。（土木工事）

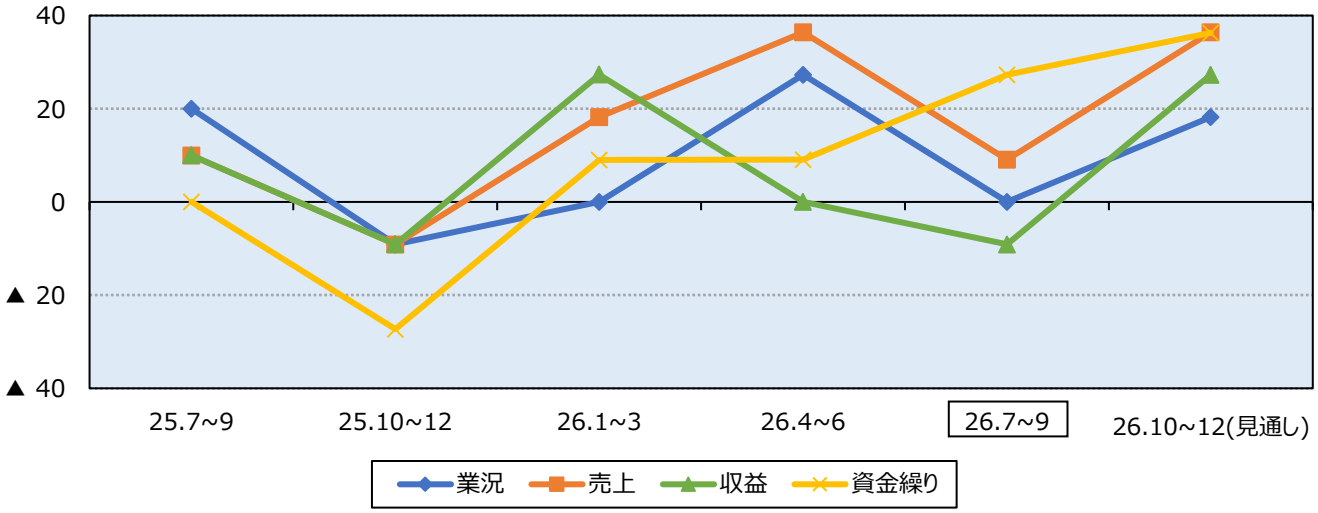
不動産業

■ 主要ＤＩの推移 ■

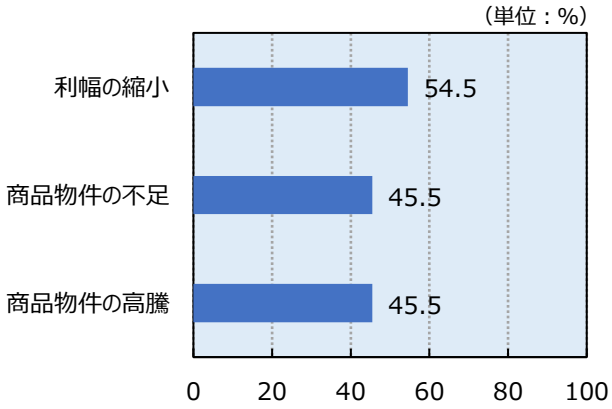
	前年同期	前期	今期	来期
業　　況	20.0	27.3	0.0	18.2
売　　上	10.0	36.4	9.1	36.4
収　　益	10.0	0.0	▲9.1	27.3
資 金 繰 り	0.0	9.1	27.3	36.3

【今期】
前期比および前年同期比で、資金繰りＤＩを除いて悪化しました。

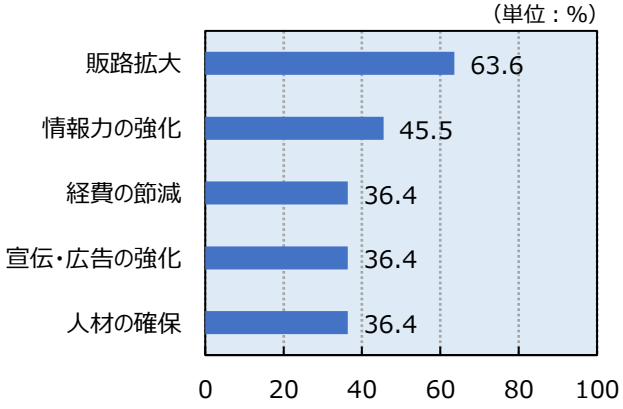
【来期】
今期実績比で、すべてのＤＩが改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



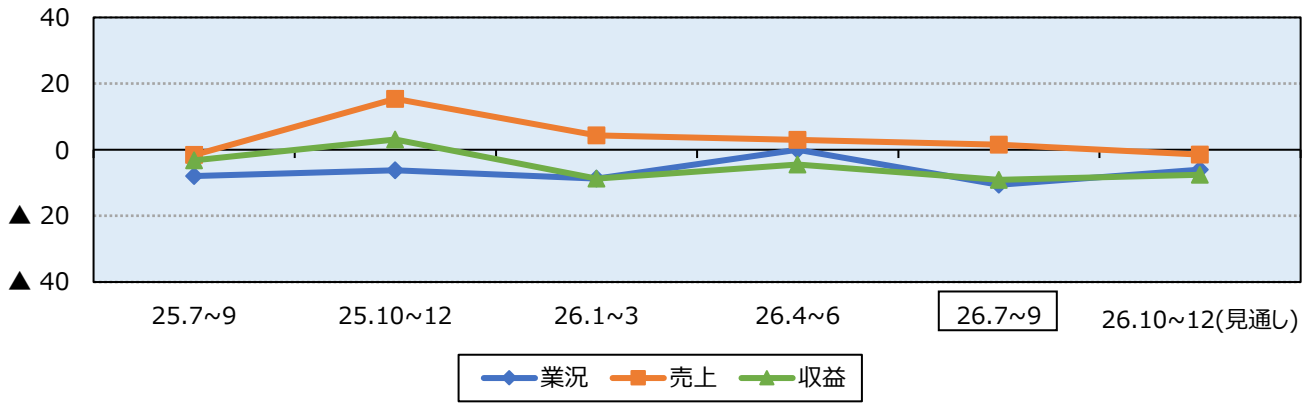
【調査員のコメント】
〇商品物件が不足していることから、情報力の強化を最重要課題としている。（不動産売買･仲介）
〇建設コストの増加や金利上昇により、住宅需要が低迷している。（不動産売買･仲介）

＜地区別ＤＩの状況＞

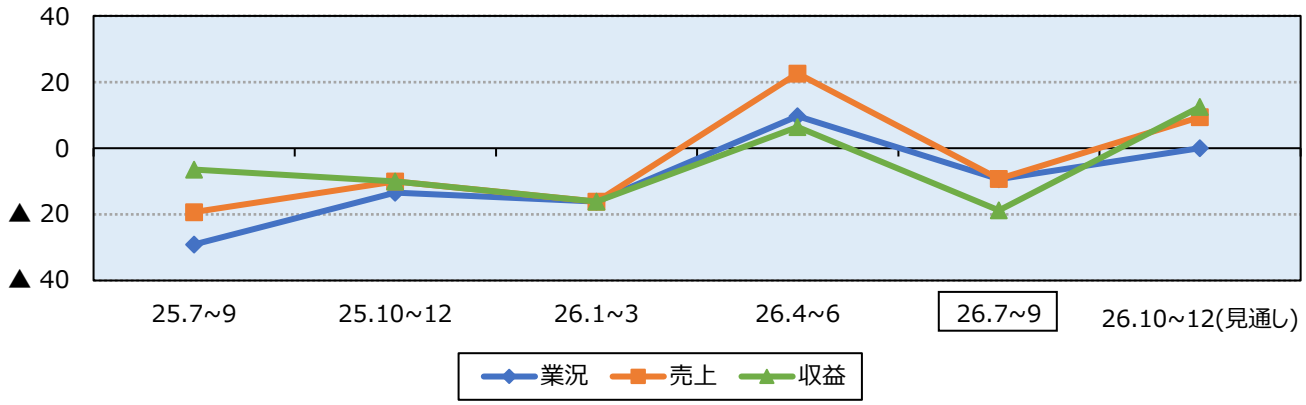
前期比で、すべての地区で、すべてのＤＩが悪化しました。前年同期比では、山梨県国中地区で、業況ＤＩと収益ＤＩが悪化、売上ＤＩが改善、東部富士五湖地区で、業況ＤＩと収益ＤＩが改善、売上ＤＩが悪化、相模原周辺地区で、すべてのＤＩが悪化しました。

来期見通しについては、山梨県国中地区と相模原周辺地区で、売上ＤＩを除いて改善、東部富士五湖地区で、すべてのＤＩが改善の見通しとなりました。

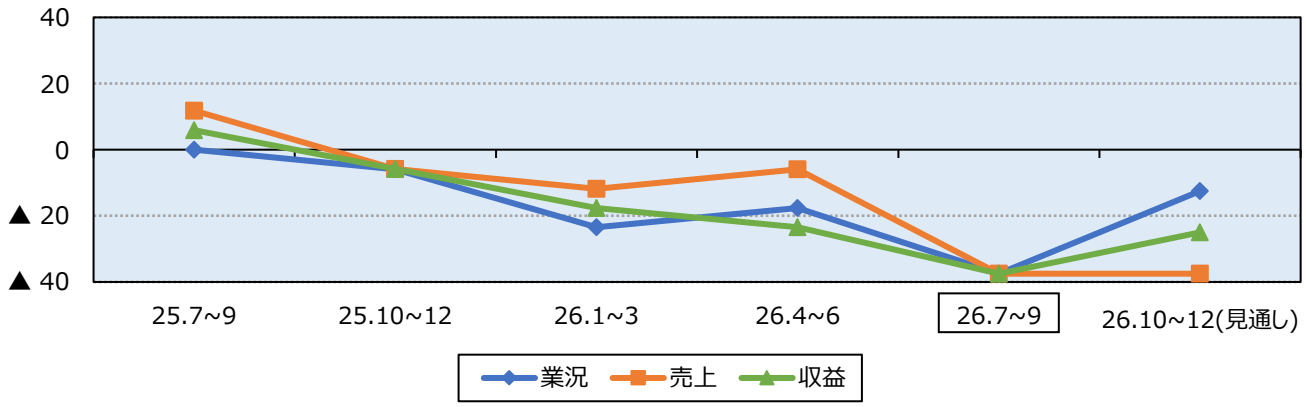
【 山梨県国中地区ＤＩの推移 】



【 東部富士五湖地区ＤＩの推移 】

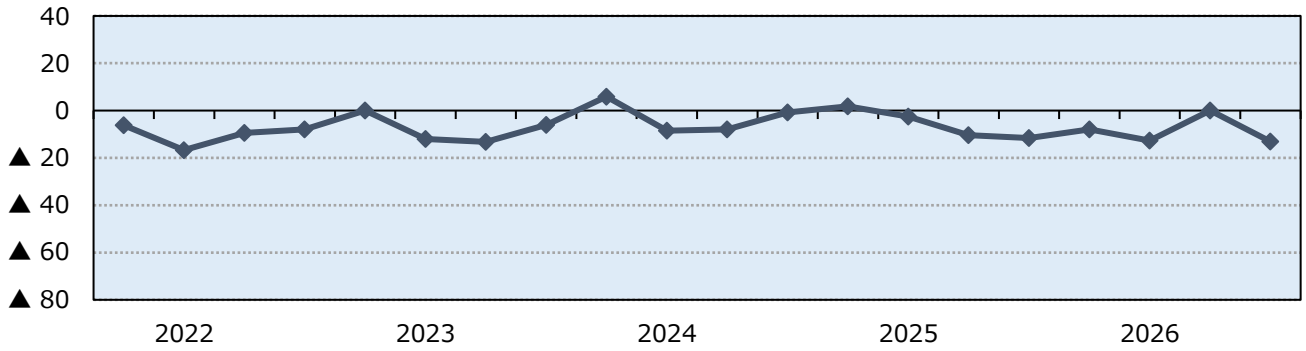


【 相模原周辺地区ＤＩの推移 】

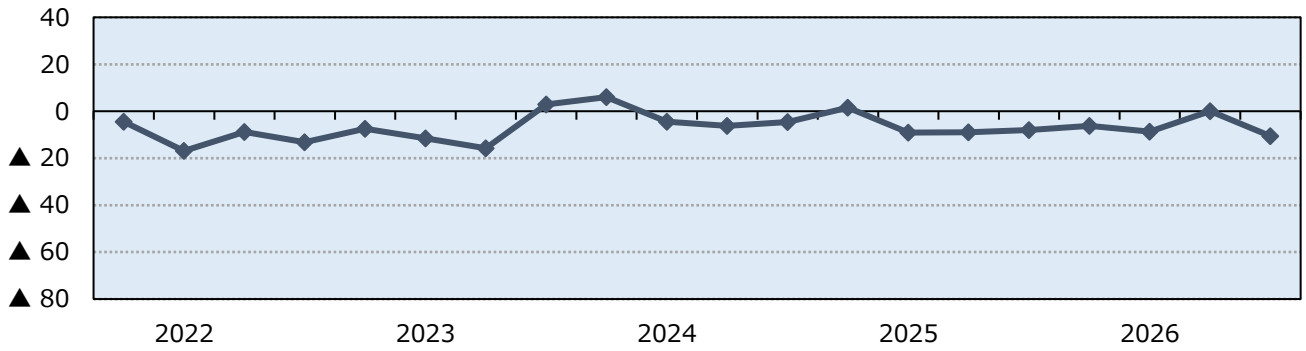


<業況ＤＩの５年間の推移>

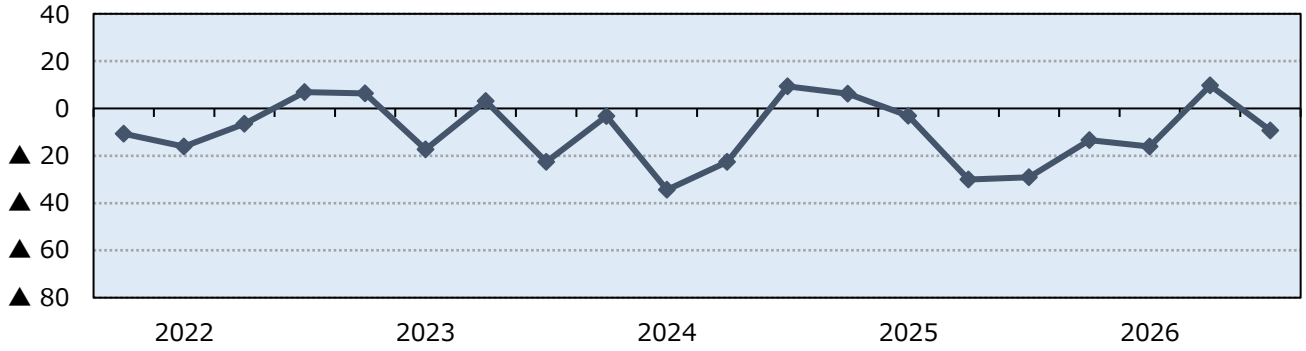
【 総合ＤＩの推移 】



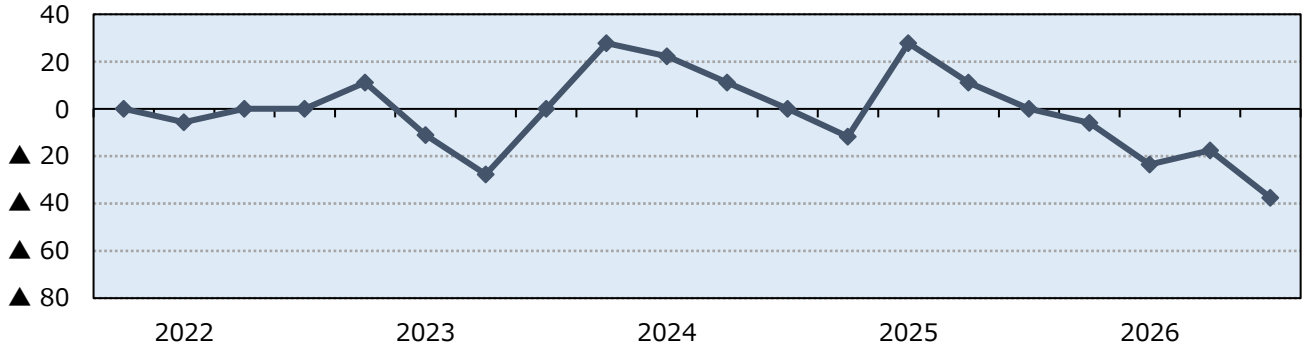
【 山梨県国中地区ＤＩの推移 】



【 東部富士五湖地区ＤＩの推移 】



【 相模原周辺地区ＤＩの推移 】



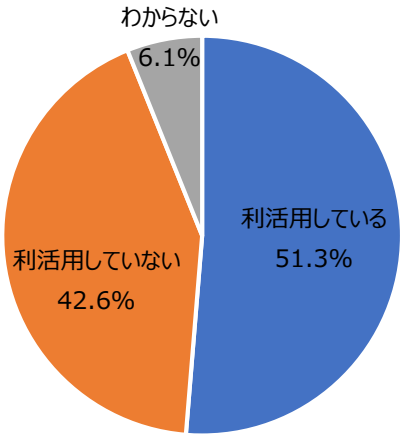
特別調査①

中小企業における生成 AI の利活用について　（回答企業：115 社）

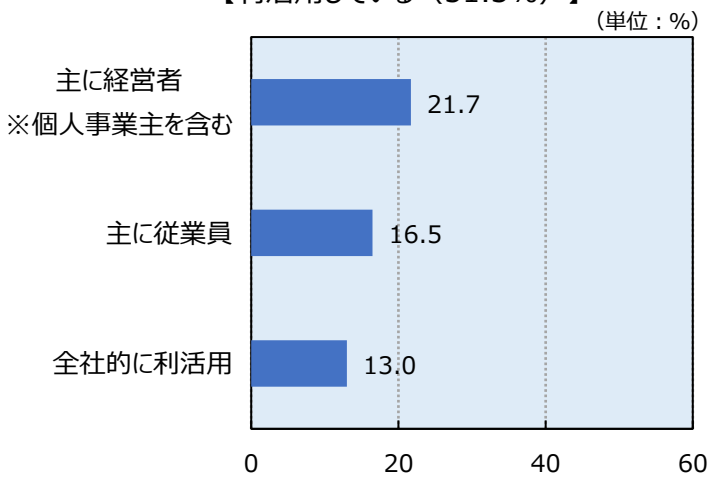
問１　貴社では、業務上で生成 AI（ChatGPT、Gemini、Claude、DeepSeek 等）を利活用していますか。利活用している場合は主にどのような方が使っていますか。

- 「利活用している」が 51.3%、「利活用していない」が 42.6%、「わからない」が 6.1%となりました。
- 「主に経営者が利活用している（個人事業主含む）」が 21.7%、「主に従業員が利活用している」が 16.5%、「全社的に利活用している」が 13.0%となりました。

【生成AIの利活用状況】



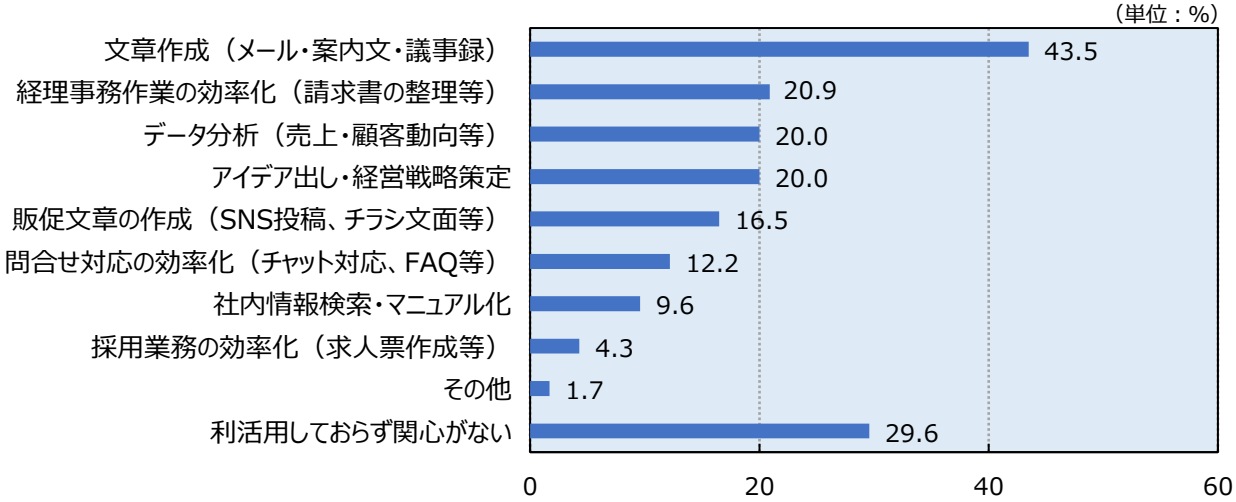
【利活用している（51.3%）】



問２　貴社では、業務上で生成 AI をどのような用途で利活用していますか。また、現時点で利活用していない場合は、どのような用途での利活用に関心がありますか。　※複数回答

- 「文章作成（メール・案内文・議事録）」が 43.5%と最も多く、「経理事務作業の効率化（請求書の整理等）」が 20.9%、「データ分析（売上・顧客動向等）」と「アイデア出し・経営戦略策定」がともに 20.0%となりました。
- 「利用しておらず関心がない」は 29.6%となりました。

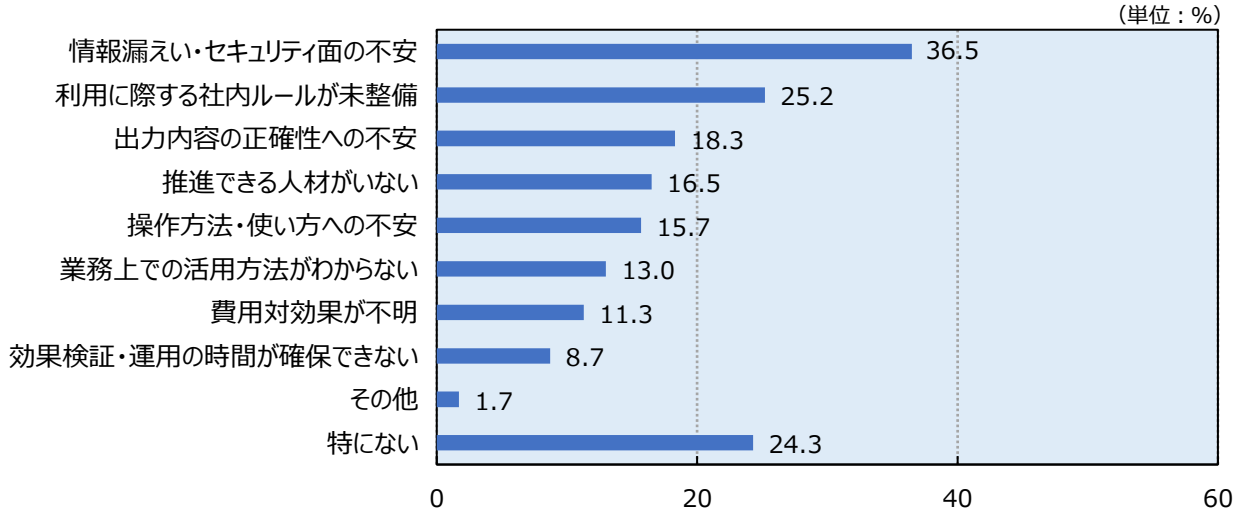
【生成AIの業務上の用途】



問３　貴社が生成 AI を業務で利活用する上で、課題となる点は何ですか。もし現時点で利活用していない場合は、その理由は何ですか。　※複数回答

- 「情報漏えい・セキュリティ面の不安」が 36.5%と最も多く、「利用に際する社内ルールの未整備」が 25.2%、「出力内容の正確性への不安」が 18.3%、「推進できる人材がいない」が 16.5%となりました。
- 「特にない」は 24.3%となりました。

【生成AIを利活用する上での課題または利活用していない理由】



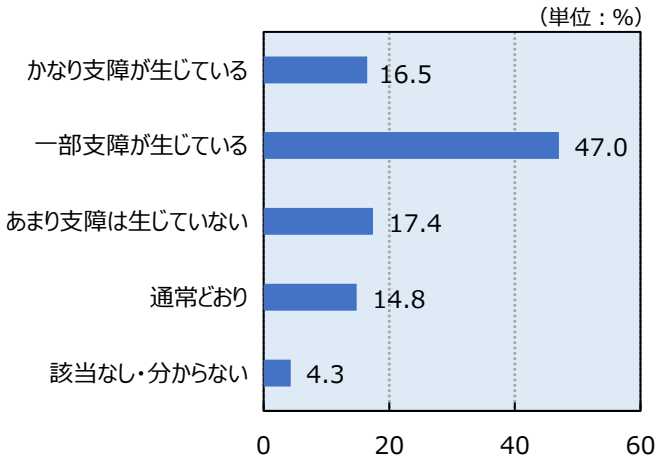
特別調査②

中東情勢による影響　（回答企業：115 社）

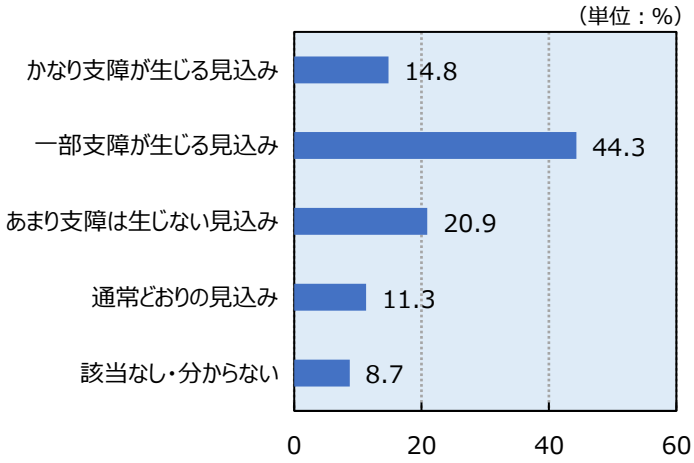
問１　2026 年春以降の中東情勢の混迷等により、貴社では原材料や商品等の調達（仕入）に際して、欠品や納期遅れ等、価格面以外での支障が生じていますか。直近（６か月程度）の状況と今後（6 か月程度）の見通しについてお答えください。

- 直近の状況については、「一部支障が生じている」が47.0%と最も多く、「あまり支障は生じていない」が17.4%、「かなり支障が生じている」が16.5%、「通常どおり」が14.8%となりました。
- 今後の見通しについては、「一部支障が生じる見込み」が44.3%と最も多く、「あまり支障は生じない見込み」が20.9%、「かなり支障が生じる見込み」が14.8%、「通常どおりの見込み」が11.3%となりました。

【直近の状況】



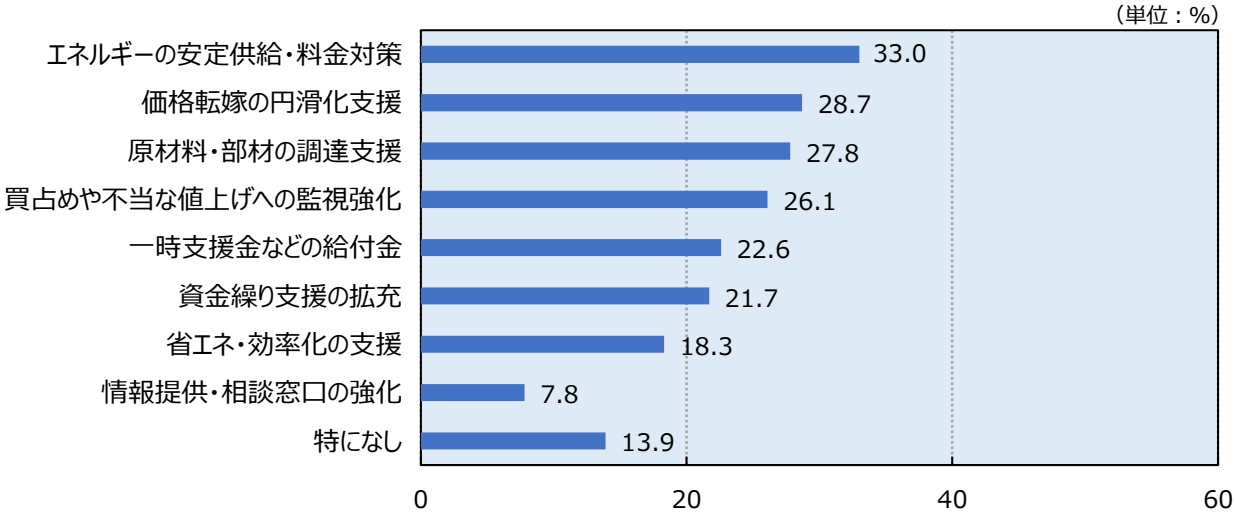
【今後の見通し】



問２　中東情勢の混迷等により、原油価格等の高騰や、原材料・商品等の調達が困難な状況が生じています。これを受けて、今後、行政に求める支援策は何ですか。　※複数回答

- 「エネルギーの安定供給・料金対策」が33.0%と最も高く、「価格転嫁の円滑化支援」が28.7%、「原材料・部材の調達支援」が27.8%、「買占めや不当な値上げへの監視強化」が26.1%となりました。

【行政に求める支援策】



★地域のイベント情報

城山フェスティバル（開催日：11月1日）

⇒城山商工会・商業振興委員会が主催する地域活性化イベントです。フリーマーケット、縁日、ご当地グルメ、音楽ライブ、コスプレイベント等が行われます。
会場：川尻八幡宮駐車場（相模原市緑区川尻4171）
交通アクセス：JR・京王線橋本駅よりバスで約15分

南アルプスクラフト市（開催日：11月21日、22日）

⇒陶磁器や革製品、木工、アクセサリー、キャンドルなどを扱う、約100店舗の出店が予定されています。作り手の個性が感じられる品々を見ながら、屋外の芝生広場で買い物や人との出会いを楽しめます。
会場：fumotto 南アルプス 地域交流エリア芝生広場（南アルプス市十日市場1571-1）
交通アクセス：中部横断自動車道南アルプス IC よりすぐ

藤野村歌舞伎公演（開催日：12月5日、6日）

⇒明治初期から農家の人々が演じた村歌舞伎は戦後に一度途絶えるも、1992年に保存会が復活させ、地域の大切な伝統芸能として世代を超えて継承されています。相模原市の登録無形民俗文化財に指定されています。
会場：藤野芸術の家クリエーションホール（相模原市緑区牧野4819）
交通アクセス：JR 藤野駅よりバスで約5分、または中央自動車道相模湖 IC より車で約10分

Xmas イルミネーション in にらさき（開催日：例年12月上旬～下旬）

⇒高さ7メートルのクリスマスツリー、わに塚の桜をモチーフにした光のオブジェなどが見どころとなっています。例年初日には点灯式やイベントが企画されており、多くの人で賑わいます。
会場：韮崎駅前広場（韮崎市若宮1-1）
交通アクセス：JR 韮崎駅から徒歩で約1分、または中央自動車道韮崎 IC から車で約10分

編集後記

このたびの中小企業景気動向調査については、お忙しい中、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

今期のＤＩ調査では、総合で、資金繰りＤＩを除いて前期（4月～6月）比で悪化しました。来期については、総合で、すべてのＤＩが改善の見通しとなっております。

特別調査では、「中小企業における生成 AI の利活用について」と題し調査しました。半数以上の企業が業務上で生成 AI を利活用していると回答し、主な用途（または今後利活用の関心がある用途）については、メールや議事録等の文章作成や経費事務の効率化、データ分析、アイデア出しを挙げる企業が多く見られました。

また、中東情勢による影響に関する調査では、原材料や商品等の調達について、直近の状況については「一部支障が生じている」との回答が最も多く、今後の見通しについても「一部支障が生じる見込み」との回答が最も多くなりました。

なお、当金庫では、中東情勢の緊迫化に伴い、当面の間、各営業店に相談窓口を設置しております。原油・原材料価格高騰等により影響を受けている、または、影響のおそれがあるお客さまからの資金繰りや返済条件の見直し等に関する相談を受け付けておりますので、お取引店までお問合せください。